

欧州自動車産業ニュース

No. 942

2024年8月2日号

ウーバーとBYDが提携、EV10万台導入へ 欧州とラテンアメリカで開始

レカロ・オートモーティブ、破産申請

セルインパクトとF.C.C.、中国企業を訪問

独モイアと塊emotion3D、
AI活用した車内状況の分析ソリューション開発

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

独EnBW、水素輸送インフラの整備計画を共同申請	4
欧州商用車販売、上半期にバンは15.0%増加	4

企業情報

自動車メーカー

ウーバーとBYDが戦略提携、EV10万台導入へ	10
Wiener Linien、レンジエクステンダーとして燃料電池搭載した小型電気バス10台を調達	10
欧州商用車大手の合弁ミレンス、英国に充電ハブを建設	11
フィンランドのヴァルメト、ドイツのバッテリー試験拠点を拡張	11
ステランティス、傘下の伊ロボティクス企業を売却	11

部品メーカー

レカロ・オートモーティブ、破産申請	12
VWのソフト子会社、小鹏汽車と開発したE/Eアーキテクチャーを商用展開	12
GKNエアロスペースとスイスのH55、電動航空機のEWIS開発で協力	13
コンチネンタル、IAAで持続可能な空気ばねソリューションを展示	13
セルインパクトとF.C.C.、中国企業を訪問	14
仏OPmobility、シュタッドラーの水素鉄道列車にタンクなど供給	14

クローズアップ

H2REAL	15
--------	----

欧州自動車短信

ステランティス、ノキアンタイヤズ	16
------------------	----

一般・その他

欧州委が独・伊を提訴、モバイルワーカー差別で	17
ハンガリーがEUに仲裁要請、ルクオイル巡る問題で	17
EUとシンガポール、デジタル貿易協定で合意	18
アルメニア人旅行者にビザ免除、EUが同国と協議開始へ	18
仏・伊など7カ国への赤字是正手続き発動、加盟国が決定	18

テクノロジー・トレンド

独モイアと墺emotion3D、AI活用した車内状況の分析ソリューション開発	19
メルセデスベンツの特殊車両部門、水素エンジン搭載のプロトタイプを開発	20

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州商用車販売、2024年1～6月：燃料別	21～22
-----------------------------	-------

企業名索引.....19

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

独 EnBW、水素輸送インフラの整備計画を共同申請

独エネルギー大手の EnBW は 7 月 23 日、子会社の terranets bw および VNG / ONTRAS Gas-transport が、ドイツのガスネットワーク事業者（長距離輸送網の運営事業者）と共同で、エネルギー転換に向けたインフラ整備プロジェクト「水素コアネットワーク」に関する申請書をドイツ連邦ネットワーク庁に提出したと発表した。連邦ネットワーク庁は 2 カ月以内に審査を終え、秋以降、承認されたプロジェクトが実行に移る予定。

EnBW は、既存のガス網の転用とパイプラインの新設により、バーデン・ヴュルテンベルク州（BW 州）とドイツ中・東部の大部分を「水素コアネットワーク」に接続する計画。

具体的には、terrannets bw を通して、現在建設中の南ドイツ・天然ガスパイプライン（SEL）を「水素コアネットワーク」に接続する計画などがある。SEL は、BW 州の水素に対応可能なガス発電所などに当初は天然ガスを、将来は水素を供給する。また、VNG / ONTRAS Gastransport は、ドイツ中部地域に水素の輸送網を構築し、ドイツ中部や東部の産業地域に水素を供給できるようにすることなどを計画している。

<AI22120>

欧州商用車販売、上半期にバンは 15.0%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は 7 月 30 日、欧州連合（EU）における 2024 年上半期（1～6 月）の商用車新車登録台数を発表した。これによると、バン（小型商用車）は、前年同期比 15.0%増の 84 万 409 台と好調だった。ドイツ（19.3%増）、スペイン（18.5%）、イタリア（17.8%増）、フランス（10.5%増）の主要市場が 2 ケタの増加率となり、全体をけん引した。

トラック（中・大型合計）は、前年同期比 3.0%増の 18 万 3,295 台と、小幅の増加にとどまった。中型トラックが 18.2%増の 3 万 1,937 台と大幅に伸びたものの、大型トラックが前年同期比 0.3%増の 15 万 1,358 台と、増加率が小さかった。

バスは、前年同期比 28.6%増の 2 万 370 台と、大幅な 2 ケタの増加率だった。主要市場では特に、イタリア（44.6%）、スペイン（24.2%増）、ドイツ（17.8%増）が好調だった。

（5～9 頁の表参照、
燃料別のグラフは【目で見える欧州自動車産業ニュース】21～22 頁に掲載）

経済活動に大きく影響する
EU の政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今の EU を知ろう

FBC

欧州商用車新車登録、小型商用車 (3.5トン以下)

国	1~6月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	19,560	14,538	34.5
ベルギー	35,976	36,353	-1.0
ブルガリア	3,381	2,452	37.9
クロアチア	4,476	3,239	38.2
キプロス	1,280	843	51.8
チェコ	12,128	10,726	13.1
デンマーク	15,458	12,643	22.3
エストニア	1,989	1,807	10.1
フィンランド	5,264	5,696	-7.6
フランス	209,866	189,949	10.5
ドイツ	151,097	126,603	19.3
ギリシャ	5,303	5,530	-4.1
ハンガリー	13,320	10,596	25.7
アイルランド	20,232	17,179	17.8
イタリア	111,451	94,609	17.8
ラトビア	1,477	1,369	7.9
リトアニア	1,631	1,493	9.2
ルクセンブルク	2,180	3,059	-28.7
マルタ	419	425	-1.4
オランダ	45,939	37,838	21.4
ポーランド	32,885	31,542	4.3
ポルトガル	16,864	13,717	22.9
ルーマニア	11,114	8,375	32.7
スロバキア	5,249	4,186	25.4
スロベニア	4,505	3,885	16.0
スペイン	85,595	72,214	18.5
スウェーデン	21,770	20,226	7.6
欧州合計	840,409	731,092	15.0
アイスランド	1,166	1,107	5.3
ノルウェー	16,045	13,292	20.7
スイス	16,027	14,733	8.8
EFTA	33,238	29,132	14.1
英国	178,210	170,889	4.3
EU+EFTA+UK	1,051,857	931,113	13.0

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中型トラック (3.5トン超～16トン未満)

国	1～6月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	—	—	
ベルギー	778	619	25.7
ブルガリア	—	—	
クロアチア	181	117	54.7
キプロス	44	43	2.3
チェコ	—	—	
デンマーク	309	229	34.9
エストニア	28	19	47.4
フィンランド	466	560	-16.8
フランス	3,931	3,354	17.2
ドイツ	15,689	12,824	22.3
ギリシャ	116	170	-31.8
ハンガリー	271	191	41.9
アイルランド	269	214	25.7
イタリア	2,792	2,466	13.2
ラトビア	60	42	42.9
リトアニア	59	49	20.4
ルクセンブルク	61	45	35.6
マルタ	—	—	
オランダ	937	993	-5.6
ポーランド	1,781	1,713	4.0
ポルトガル	390	367	6.3
ルーマニア	418	303	38.0
スロバキア	202	178	13.5
スロベニア	76	80	-5.0
スペイン	2,817	2,204	27.8
スウェーデン	262	235	11.5
欧州合計	31,937	27,015	18.2
アイスランド	51	75	-32.0
ノルウェー	721	896	-19.5
スイス	399	344	16.0
EFTA	1,171	1,315	-11.0
英国	6,997	5,638	24.1
EU+EFTA+UK	40,105	33,968	18.1

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、大型トラック (16トン以上)

国	1~6月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	4,867	4,206	15.7
ベルギー	4,720	4,801	-1.7
ブルガリア	—	—	
クロアチア	978	882	10.9
キプロス	47	40	17.5
チェコ	4,788	5,250	-8.8
デンマーク	2,607	2,238	16.5
エストニア	367	473	-22.4
フィンランド	1,510	1,550	-2.6
フランス	24,193	23,304	3.8
ドイツ	36,728	35,650	3.0
ギリシャ	482	237	103.4
ハンガリー	2,768	2,858	-3.1
アイルランド	1,552	1,335	16.3
イタリア	13,982	12,720	9.9
ラトビア	592	1,053	-43.8
リトアニア	3,062	6,024	-49.2
ルクセンブルク	502	902	-44.3
マルタ	—	—	
オランダ	7,484	7,560	-1.0
ポーランド	13,743	15,584	-11.8
ポルトガル	2,961	2,663	11.2
ルーマニア	4,272	3,808	12.2
スロバキア	1,676	2,038	-17.8
スロベニア	1,252	1,332	-6.0
スペイン	13,432	11,148	20.5
スウェーデン	2,793	3,324	-16.0
欧州合計	151,358	150,980	0.3
アイスランド	131	163	-19.6
ノルウェー	2,563	2,556	0.3
スイス	2,040	1,874	8.9
EFTA	4,734	4,593	3.1
英国	19,475	21,103	-7.7
EU+EFTA+UK	175,567	176,676	-0.6

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中・大型トラック合計

国	1～6月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	4,867	4,206	15.7
ベルギー	5,498	5,420	1.4
ブルガリア	—	—	
クロアチア	1,159	999	16.0
キプロス	91	83	9.6
チェコ	4,788	5,250	-8.8
デンマーク	2,916	2,467	18.2
エストニア	395	492	-19.7
フィンランド	1,976	2,110	-6.4
フランス	28,124	26,658	5.5
ドイツ	52,417	48,474	8.1
ギリシャ	598	407	46.9
ハンガリー	3,039	3,049	-0.3
アイルランド	1,821	1,549	17.6
イタリア	16,774	15,186	10.5
ラトビア	652	1,095	-40.5
リトアニア	3,121	6,073	-48.6
ルクセンブルク	563	947	-40.5
マルタ	—	—	
オランダ	8,421	8,553	-1.5
ポーランド	15,524	17,297	-10.3
ポルトガル	3,351	3,030	10.6
ルーマニア	4,690	4,111	14.1
スロバキア	1,878	2,216	-15.3
スロベニア	1,328	1,412	-5.9
スペイン	16,249	13,352	21.7
スウェーデン	3,055	3,559	-14.2
欧州合計	183,295	177,995	3.0
アイスランド	182	238	-23.5
ノルウェー	3,284	3,452	-4.9
スイス	2,439	2,218	10.0
EFTA	5,905	5,908	-0.1
英国	26,472	26,741	-1.0
EU+EFTA+UK	215,672	210,644	2.4

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、バス (3.5トン超)

国	1～6月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	594	387	53.5
ベルギー	476	292	63.0
ブルガリア	—	—	
クロアチア	114	72	58.3
キプロス	81	154	-47.4
チェコ	634	306	107.2
デンマーク	350	186	88.2
エストニア	133	101	31.7
フィンランド	260	115	126.1
フランス	3,047	2,979	2.3
ドイツ	3,141	2,667	17.8
ギリシャ	503	141	256.7
ハンガリー	222	633	-64.9
アイルランド	479	221	116.7
イタリア	3,481	2,408	44.6
ラトビア	149	103	44.7
リトアニア	144	46	213.0
ルクセンブルク	152	107	42.1
マルタ	—	—	
オランダ	248	151	64.2
ポーランド	1,108	731	51.6
ポルトガル	546	380	43.7
ルーマニア	1,788	1,161	54.0
スロバキア	162	273	-40.7
スロベニア	109	79	38.0
スペイン	2,163	1,741	24.2
スウェーデン	286	404	-29.2
欧州合計	20,370	15,838	28.6
アイスランド	86	66	30.3
ノルウェー	497	669	-25.7
スイス	286	233	22.7
EFTA	869	968	-10.2
英国	3,817	2,457	55.4
EU+EFTA+UK	25,056	19,263	30.1

出所: 欧州自動車工業会

<AI22121>

企業情報

■自動車メーカー■

ウーバーとBYDが戦略提携、EV10万台導入へ

米配車サービス大手のウーバー・テクノロジーズは7月31日、中国の自動車・バッテリー大手の比亞迪汽車（BYD）との複数年の戦略提携を発表した。世界の主要市場におけるウーバーの配車サービスにBYDの電気自動車（EV）10万台を導入する。まずは、欧州とラテンアメリカでBYDのEVの導入を開始し、その後、中東、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドにも協力を拡大していく。両社は将来さらに、ウーバーのプラットフォームへのBYDの自動運転車の導入でも協力する方針も明らかにした。

ウーバーのドライバーは一般のドライバーに比べてEVの保有率が高いものの、EV価格の高さと資金確保がEVへの切り替えを妨げる主な要因となっている。

このような状況を踏まえ、両社は、ウーバーのドライバーに好条件の価格や融資などを提供し、EVの総保有コスト（TCO）を引き下げることで、EVの利用を促進する。各市場の状況に応じて、充電料金、保守、保険の割引や、融資、リースサービスなどを提供し、ドライバーを支援する。

<AI22122>

Wiener Linien、レンジエクステンダーとして燃料電池搭載した小型電気バス10台を調達

オーストリアのウィーンの公共交通事業者である Wiener Linien は7月29日、イタリアのバスメーカー Rampini から燃料電池をレンジエクステンダー（航続距離延長装置）として搭載した小型の電気バス10台を調達すると発表した。路線2Aと3Aを運行していた純粋な電気バスの機械的負荷が上限に達したため、欧州全域を対象に入札を実施していた。取引規模は、車両の購入と保守を含め総額で約1,200万ユーロとなる。今回の調達では欧州連合（EU）の資金支援を受けている。

Rampini から調達するバス「Hydron」は、全長8メートルで、乗員数は42人（座席13席）。230kWの電気モーターと175kWhのトラクションバッテリーを搭載する。レンジエクステンダーとして水素燃料電池を搭載するため、充電せずに全日運行することができる。このため、路線2Aと3Aを運行していたバス12台を10台に減らすことができた。燃料電池の出力は30kW。ルーフに水素タンク3本（容量：1本あたり5kg、計15kg）を装備している。ウィーンで生成したグリーン水素を充填する。「Hydron」の航続距離は250km以上となっている。

2025年には、路線39Aでポルトガルのバスメーカー、カエタノ・バスから調達した純粋な燃料電池バス10台が運行を開始する予定。

<AI22123>



出所：ウィーン市

欧州商用車大手の合併ミレンス、英国に充電ハブを建設

欧州商用車大手のトレイトン・グループ、ダイムラー・トラック、ボルボ・グループの3社が設立した充電ネットワークの合併会社であるミレンスは7月30日、英国に初の充電ハブを建設すると発表した。イングランド東海岸のイミンガムですでに建設を開始している。2024年11月に第1フェーズを完了し、運営を開始する予定。

イミンガムは、主要な高速道路や鉄道へのアクセスが良く、英国全域に効率的に貨物を輸送することができる。欧州市場へも、船舶により24時間以内にアクセスできる利点があり、北欧やバルト海地域に定期的に貨物船が運行している。

イミンガムの充電ハブは当初、8つのベイ（区間）にコンバインド充電システム（CCS）の充電器4基を整備する予定。衛生設備や飲料・スナックの自動販売機も設置する計画。最終フェーズでは、CCSの充電器を増設するほか、メガワット充電システム（MCS）も設置する。衛生設備、自販機、ラウンジエリアの増設も計画している。

<AI22124>

フィンランドのヴァルメト、ドイツのバッテリー試験拠点を拡張

フィンランドの自動車・部品受託生産メーカー、ヴァルメト・オートモーティブ（VA）は7月26日、ドイツのバート・フリードリヒスハルにあるバッテリー試験センター（BTC）の大規模拡張工事が完了したと発表した。BTCの拡張は過去4年間で2回目。これまでの投資総額は約1,500万ユーロに上る。同BTCは145人を雇用し、同社の電気自動車（EV）システム部門が開発したバッテリーシステムの性能評価を行っている。

拡張によりBTCは、高性能システムのテストベンチ3台、モジュールシステムのテストベンチ6台に加え、4つの分析室、100個の高電圧バッテリーを保管できる物流施設などが整備された。

BTCでは、負荷や電圧のサイクル、容量、耐用年数、熱管理性能などのテストや、耐湿熱性と対薬品性、耐水性などの環境試験、製品としての品質保証テストなどを行っている。

同社は今後、バス・トラックなどの商用車や、舗装されていない道路を走行する農機などのオフハイウェイ車両向けのバッテリー製品に重点を置いて試験を行っていくとしている。

<AI22125>

ステランティス、傘下の伊ロボティクス企業を売却

欧州自動車大手のステランティスは7月25日、傘下の伊ロボティクス企業コマウ（Comau）の過半数株式をプライベートエクイティファンドのワン・エクイティ・パートナーズ（OEP）に売却することで合意したと発表した。今回の売却は2021年1月にPSAとFCAの合併によりステランティスが設立された際の戦略的合意の一環。ステランティスは引き続き少数株主として残る。取引額は明らかにされていない。

コマウはロボティクスと産業オートメーションを専門とする企業。ステランティスの傘下から外れることで経営の独立性が高まり、イタリア本国の基盤強化と事業資金の追加調達が可能になる。経営陣は買収後も残る。同社のピエトロ・ゴリエ最高経営責任者（CEO）は、「今回の売却は、産業オートメーションの世界的な需要増加を見据え、自動車分野を超えて事業を拡大していく戦略に沿ったものだ」と述べた。

ステランティスはこれにより、欧州の中核事業に集中できるようになる。

<AI22126>

■部品メーカー■

レカロ・オートモーティブ、破産申請

独シートメーカーのレカロ・オートモーティブ（本社：キルヒハイム・ウンター・テック）は7月30日、エスリンゲン地方裁判所に自社資産の破産を申請したと発表した。大幅な価格上昇や全体的な市況の悪化、大型受注を失ったことなどにより経営難に陥った。破産手続き中も通常通り生産を継続し、既存の受注や新規顧客からの問い合わせに対応する。レカロ・オートモーティブは、世界3国に従業員約500人を抱えている。

独業界紙『オートモビルボッヘ』によると、レカロのシートは、特別装備やコンセプトカーに採用されるケースが多く、量産の新規受注はほとんどなくなっており、交換部品が中心となっていたもよう。レカロはこのほか、オールドタイマー用のシートやサッカー・スタジアムの監督・控え選手用シートを製造している。『オートモビルボッヘ』紙によると、量産品の唯一の取引であったオフロード車メーカーの英イネオス・オートモーティブは先頃、2番目となるモデル「Fusilier」を無期限に延期する方針を明らかにしている。

レカロ・オートモーティブは2016年に、米ジョンソンコントロールズ傘下のシートメーカー、アディエントにより買収されたが、その後、米投資会社レイヴン・アクイジションが2020年に、アディエントからレカロ・オートモーティブを買収した経緯がある。『オートモビルボッヘ』紙によると、レカロ・オートモーティブは、ドイツ、米国、日本の3拠点に従業員約425人を抱えており、うち、215人がドイツに勤務している。

<AI22127>

VWのソフト子会社、小鹏汽車と開発したE/Eアーキテクチャーを商用展開

独フォルクスワーゲン（VW）のソフトウェア子会社カリアドは7月22日、中国の新興電気自動車（EV）メーカー、小鹏汽車（XPENG）と共同開発したE/Eアーキテクチャー「チャイナ・エレクトリカル・アーキテクチャー（CEA）」の商用展開に向けて契約を結んだと発表した。2026年からVWが現地生産するEVに搭載し、ソフトウェア定義車（SDV）として市場投入する。カリアドはまた先進運転支援システム（ADAS）やスマートコックピット機能なども提供する予定。

CEAは、車両の中央コンピューターに電子制御ユニット（ECU）を統合する次世代のゾーン型E/Eアーキテクチャー方式を採用。システムを簡素化するとともに、システムを制御するECUの数を30%削減している。CEAを搭載した車両は3台の中央コンピューターがシステムを強力に制御することにより、自動運転など先進的な機能をシームレスに統合できる。OTA（無線通信によるソフトウェアの自動更新）によりアップデートするため、デジタルサービス・機能の迅速な拡充が可能だ。

VWはCEAを投入することで、現地生産車のデジタル・アーキテクチャーを統一する。まずは現地開発のプラットフォームを採用した車両で導入する意向だ。

<AI22128>

GKN エアロスペースとスイスの H55、電動航空機の EWIS 開発で協力

英エンジニアリング大手 GKN 傘下の航空宇宙関連会社 GKN エアロスペースは7月25日、スイスのバッテリーメーカー、H55 と、電動航空機の推進に必要な高電圧・高出力の自動相互接続系統 (EWIS) の開発と産業化に向けて協力すると発表した。H55 は電気推進システム (EPS) とバッテリーの設計・製造に関する技術的な専門知識を提供する。

H55 はすでに、バッテリーパックと管理システム、必要なインターフェース類からなるエネルギー貯蔵システム (ESS) と、モーターおよびモーターコントローラーを備えた電気推進ユニット (EPU) を含む EPS を開発している。同 EPS はこれまでに4つの異なるタイプの航空機に実装され、飛行に成功している。

GKN エアロスペースは完全電気駆動航空機及びハイブリッド航空機用の EWIS 開発と製造を担当する。同社の EWIS に H55 のソリューションを統合することで、共通の顧客に電力供給ソリューションを最適な形で提供できるようになる。

<AI22129>

コンチネンタル、IAA で持続可能な空気ばねソリューションを展示

独自動車部品大手のコンチネンタルは7月29日、ハノーバーで9月に開催される商用車の国際自動車見本市 (IAA) に、空気ばね (エアスプリング) の最新ソリューション「タフ・RuNR エアスプリング」を出展すると発表した。ゴム部分に天然ゴムと EPDM (エチレンプロピレンジエンゴム) を使うことで、カーボンフットプリントを従来品より50%以上削減するとともに、極端な気象条件下での耐久性を高めた。

コンチネンタルによると、従来の空気ばねでは、天然ゴムが極寒の気候に耐性を持つ一方、高温や強い紫外線に対してはクロロプレンゴムを使う必要があった。タフ・RuNR エアスプリングは天然ゴムに高性能の EPDM を混ぜることで、寒冷・高温の両気候に対応できるようにしている。カーボンフットプリントも半分以下に抑えられるため、物流分野の排出削減にも貢献する。

コンチネンタルは IAA でこのほかにも持続可能性に配慮した材料ソリューションを紹介する予定。

<AI22130>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



セルインパクトとF.C.C.、中国企業を訪問

燃料電池や電解装置向けのフロープレートを製造するスウェーデンのセルインパクトは7月26日、提携先のエフ・シー・シー（F.C.C. 本社：静岡県浜松市）と中国の顧客や潜在顧客を訪問したと発表した。セルインパクトのフロープレート製造技術「Cell Impact Forming」を紹介するとともに、F.C.C.との協力により、アジアで大規模な生産が可能であると説明した。

具体的には、セルインパクトの初期の顧客である Nowogen や、Anchor、Horizon Fuel Cell Technologies などを訪問した。

セルインパクトのダニエル・ヴァリン最高経営責任者（CEO）は今回のF.C.C.との中国訪問について、「両社の強みを生かした魅力的なオファーにより、カスタマイズされたプレートの完成品の購入や、我々の専門知識や独自の成形技術の活用など、顧客ニーズを満たすことができる」と説明している。

<AI22131>

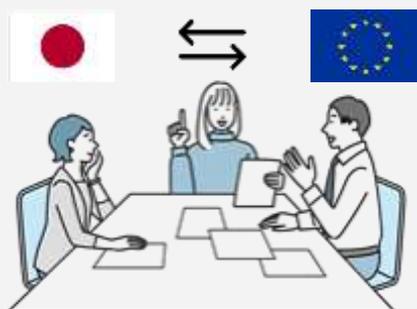
仏 OPmobility、シュタッドラーの水素鉄道列車にタンクなど供給

仏自動車部品大手の OPmobility（旧プラスチック・オムニウム）は7月18日、スイスの鉄道車両メーカー、シュタッドラーがイタリアで受注した水素を動力源とする鉄道車両に高圧水素貯蔵システムと150kWの燃料電池システムを供給すると発表した。2025年後半までに納品する予定。

具体的には、圧力350バールの水素貯蔵システム（列車1両あたり8システム、容量：185kg）と150kWの燃料電池システム（列車1両あたり4システム）を供給する。燃料電池システムは、OPmobility と独エルリングクリンガー（EK）による燃料電池スタックの合弁会社 EKPO フェューエルセル・テクノロジーズ（EKPO）が開発したスタックモジュール「NM12 ツイン」が組み込まれている。

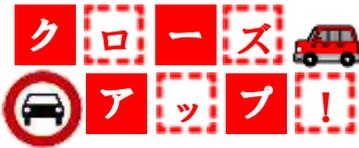
OPmobility は、まずは列車15両にシステムを供給する予定で、今後数年でさらに納入が増えるが見込んでいる。

<AI22132>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します



H2REAL

(Hydrogen Region East Austria goes Live)

オーストリア東部に水素技術・水素利用の鍵となる水素バレーを構築するプロジェクト。水素の生成、貯蔵、輸送、利用を網羅するバリューチェーン（価値連鎖）を構築し、相乗効果による水素価格の低減を目指すとともに、将来の規模拡大、水素経済の発展に役立てる計画。

当該プロジェクトでは4つのクラスター（I：生成、II：貨物ベースの輸送・ロジスティクス、III：モビリティ&インフラストラクチャー、IV：パイプラインベースの輸送・分配）を通して、さまざまなパートナーが協力すると同時に、クラスター間の連携により総合的な水素経済の構築に取り組む。

また、持続可能なエネルギーシステムの構築に取り組むモデル地域「Green Energy Lab」や産業の脱炭素化に取り組むプロジェクト「New Energy for Industry」とも協力する。

当該プロジェクトの実施期間は 2023 ～ 2026 年。調整役は地域エネルギー事業者のウイーン・エネルギーが務める。



出所: Verein WIVA P&G

欧州自動車短信

■ 欧州自動車大手のステランティスは7月30日、中国の電気自動車メーカー、零跑汽車(Leapmotor)と設立した合弁会社リーブモーター・インターナショナルが、欧州への輸出を開始したと発表した。上海から欧州の港へ向けて7月に、零跑汽車の電気自動車「T03」と「C10」を乗せた貨物船が出港した。リーブモーター・インターナショナルは、ステランティスの販売網を活用し、まずは欧州9カ国で2024年9月から販売を開始する。2024年末までに販売拠点を200カ所とし、2026年までに500カ所に増やす計画。2024年第4四半期からは、アジア・太平洋、中東／アフリカ、南アメリカでも事業を開始する予定。リーブモーター・インターナショナルは、アムステルダムに本社を置く。出資比率はステランティスが51%、零跑汽車が49%となっている。

■ 欧州投資銀行(EIB)は7月31日、フィンランドのタイヤ大手ノキアタイヤズのルーマニア工場の建設に1億5,000万ユーロを融資すると発表した。期間は8年。ノキアタイヤズは、ルーマニア北西部のオラデアに、二酸化炭素(CO2)を排出しないゼロエミッションの乗用車用タイヤ工場を建設する計画。同工場は2027年に完成する予定で、生産能力は年600万本。約500人のフルタイムの雇用を見込んでいる。2025年初めに操業を開始し、2026年に生産能力を増強し、2027年にフル稼働体制となる予定。



出所：欧州投資銀行（EIB）

<AI22133>



競合企業のサンプル入手

ベンチマーク調査や

リバースエンジニアリングに！

一般・その他

欧州委が独・伊を提訴、モバイルワーカー差別で

欧州委員会は7月25日、イタリアとドイツがモバイルワーカーを待遇面で差別しているとして、両国政府を欧州司法裁判所に提訴すると発表した。

モバイルワーカーはパソコンやスマートフォンなどを活用し、いつでもどこでも業務を行う就労者。

欧州委によると、イタリアでは2022年3月から扶養する子供への家族手当を支給する制度が導入されたが、本人がイタリアに2年以上居住していない、または子供が国外で住んでいる場合は受給資格がない。

ドイツではバイエルン州で2018年から3歳以下の子供を対象とする家族手当を支給しているが、子供が同州より生活費が低いEU加盟国に居住していれば、支給額を減額している。

欧州委は両国の措置が、EUの労働者の自由な移動を認めるルールなどに抵触するとして是正を促してきたが、両国とも応じなかったことから、欧州司法裁への提訴に踏み切った。

<AI22134>

ハンガリーがEUに仲裁要請、ルクオイル巡る問題で

ハンガリーのシーヤールトー外相は7月22日、ウクライナがロシアの民間石油会社ルクオイルがハンガリーに供給する原油のパイプラインを閉鎖した問題について、ハンガリーがスロバキア政府とともに欧州連合（EU）の欧州委員会に仲裁を要請したことを明らかにした。

EUはウクライナに軍事侵攻したロシアに様々な制裁措置を科しているが、原油輸入は対象外となっており、ハンガリーは年間200万トンの原油をルクオイルから輸入している。原油輸入の約3割を同社に依存している状況だ。

ウクライナ政府は6月、ロシアへの追加制裁として、ウクライナ国内に敷設されているルクオイルのパイプラインを閉鎖した。これによってハンガリー石油大手MOLが国内とスロバキアで運営する製油所への原油のパイプライン輸送が停止され、すべての原油をルクオイルから調達する同製油所が窮地に陥っている。

シーヤールトー外相は21日、ウクライナのクレバ外相と会談し、同問題について協議したが、解決に至らなかった。このため、ハンガリーとスロバキアはパイプライン閉鎖解除に向けて欧州委に仲裁を委ねることを決めた。

<AI22135>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000~3,000ユーロから



EU とシンガポール、デジタル貿易協定で合意

欧州連合（EU）とシンガポールは7月25日、自由なデジタル貿易の促進を目的とするデジタル貿易協定（DTA）を締結することで合意した。EUが域外諸国・地域とDTAを結ぶのは初となる。

同協定は2019年に発効したEUとシンガポールの自由貿易協定（FTA）を補完するもの。23年7月に交渉が開始された。

合意した協定は、ルールを設けたうえで双方のデジタル貿易を拡大するのが狙い。物品・サービスの電子取引、不要な障壁なしのデータ移転を促進する。信頼性の高い自由なデジタル貿易を推進するため、電子署名や消費者保護、ソフトウェアの設計図に相当する「ソースコード」の保護などでルールを定め、協定を運用する。スパム（要求していないのに勝手に送り付けられてくる不要なメールやメッセージ）対策を強化することなども盛り込まれている。

デジタル貿易協定はシンガポールとEU加盟国、欧州議会による批准を経て発効となる。

シンガポールにとってEUは世界5番目の貿易相手。22年は貿易全体の55%に当たる430億ユーロがデジタル貿易となっている。

<AI22136>

アルメニア人旅行者にビザ免除、EUが同国と協議開始へ

欧州連合（EU）加盟国は7月22日の外相理事会で、アルメニア人旅行者が域内を訪問する際のビザ（査証）取得義務免除について、アルメニア政府と協議を開始することを決定した。

アルメニア人が短期滞在であればEUの大半の国を含むシェンゲン協定参加国をビザなしで旅行できるようにする。

旧ソ連邦のアルメニアは、このところロシアとの関係が悪化し、欧米への接近を図っている。EUは同国の動きに応じ、関係を深めるためビザなし旅行を認める。ただし、アルメニアが必要な「基準」を満たすことが条件で、同国のメディアは実現まで数年間はかかると報じている。

旧ソ連邦諸国ではモルドバ、ウクライナ、ジョージアなどがEUから同様のビザなし旅行制度の適用を受けている。

<AI22137>

仏・伊など7カ国への赤字是正手続き発動、加盟国が決定

欧州連合（EU）加盟国は7月26日に開いた財務相理事会で、財政規律に違反しているフランス、イタリア、ベルギー、ポーランド、ハンガリー、スロバキア、マルタの7カ国に対して、欧州委員会の勧告に従って過剰赤字是正手続きを発動することを決めた。

EUの財政規律を定めた安定成長協定では、各国に単年の財政赤字を国内総生産（GDP）比3%以内、累積債務をGDP比60%以内に抑えることを義務付けている。順守できない国は制裁の第1段階となる過剰赤字是正手続きが適用され、財政改革が求められる。

対象各国の2023年の財政赤字はイタリアがGDP比7.4%、ハンガリーが同6.7%、フランスが同5.5%、ポーランドが同5.1%、マルタが同4.9%、スロバキアが同4.9%、ベルギーが同4.4%と、上限を大きく超えている。

EUは加盟各国がコロナ禍対応に迫われ、巨額の財政支出を強いられた2020年から財政規律の適用を停止してきたが、24年に再開し、過剰赤字是正手続きも発動できるようになった。これを受けて欧州委は7月8日、加盟国に過剰赤字是正手続きの発動を勧告。財務相理事会で承認された。

欧州委は11月をめどに、各国に具体的な赤字削減案や期限を勧告することになっている。

<AI22138>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

独モイアと燠 emotion3D、AI 活用した車内状況の分析ソリューション開発

独自動車大手フォルクスワーゲン（VW）グループのモビリティサービス子会社であるモイア（MOIA）は7月24日、オーストリアのソフトウェア会社 emotion3D と共同で、自動運転システムを搭載した電気駆動のマイクロバス「ID.BUZZ AD」向けに、車内の状況を分析するための人工知能（AI）ソリューションを開発したと発表した。

当該ソリューションは、AIにより、ドア付近の様子や、車内の明るさ、床に障害物が落ちていないか、乗員数が上限を超えていないか、乗員がシートベルトを装着しているかなどを分析し、自動運転車に発車のゴーサインを出す。車内に設置したカメラのデータを emotion3D の AI を活用した車内分析ソフトウェア「CABIN EYE」が評価し、MOIA のソフトウェアに伝達する仕組み。必要に応じて、外部のコントロールセンターが発進の許可を出したり、乗員とコミュニケーションを取ったりすることができる。

今後数カ月間、当該システムや顧客の乗車体験などを試験する計画で、試験期間中は、安全のためドライバーが同乗する。

<AI22139>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Cariad.....	12	MOIA
Cell Impact.....	14	Nokian Tyres
Continental.....	13	OPmobility
Daimler Truck.....	20	Recaro Automotive.....
emotion3D	19	Stellantis
EnBW	4	Uber Technologies.....
GKN Aerospace.....	13	Valmet Automotive
Milence	11	Wiener Linien.....

メルセデスベンツの特殊車両部門、水素エンジン搭載のプロトタイプを開発

独商用車大手のダイムラー・トラックは7月23日、メルセデスベンツの特殊車両部門（Mercedes-Benz Special Trucks）が水素燃料燃焼エンジンを搭載した特殊車両のプロトタイプ2台のデモンストレーションを実施したと発表した。このプロトタイプは、ドイツ連邦経済・気候保護省が資金支援する開発プロジェクト「WaVe」の枠組みを通して、独建設機械ディーラーのメルトルバウアー（Moertlbauer）などのパートナーと協力して開発した。

「WaVe」は、2021年7月にスタートした。産学から18のパートナーが参加しており、従来のディーゼルエンジンの代替となる特殊車両向けの水素燃料燃焼エンジン2基を開発した。

デモンストレーションは、バイエルン州フルステンツェルにあるメルトルバウアーの拠点の敷地内で実施した。「ウコモグ U 430」とクローラードンプのプロトタイプ2台が、走行および作業操作のパフォーマンスを披露した。

ウコモグは、700バールの高圧タンク4本に計約13kgのガス状水素燃料を貯蔵しており、約290馬力／1000Nmの水素エンジンを搭載する。これは、300馬力のディーゼルエンジンと同等の出力・トルク性能に相当する。クローラードンプが搭載する水素エンジンの出力はウコモグとほぼ同水準で、タンクには700バールで14.5kgの水素燃料を貯蔵している。



出所：Daimler Truck

<AI22140>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています

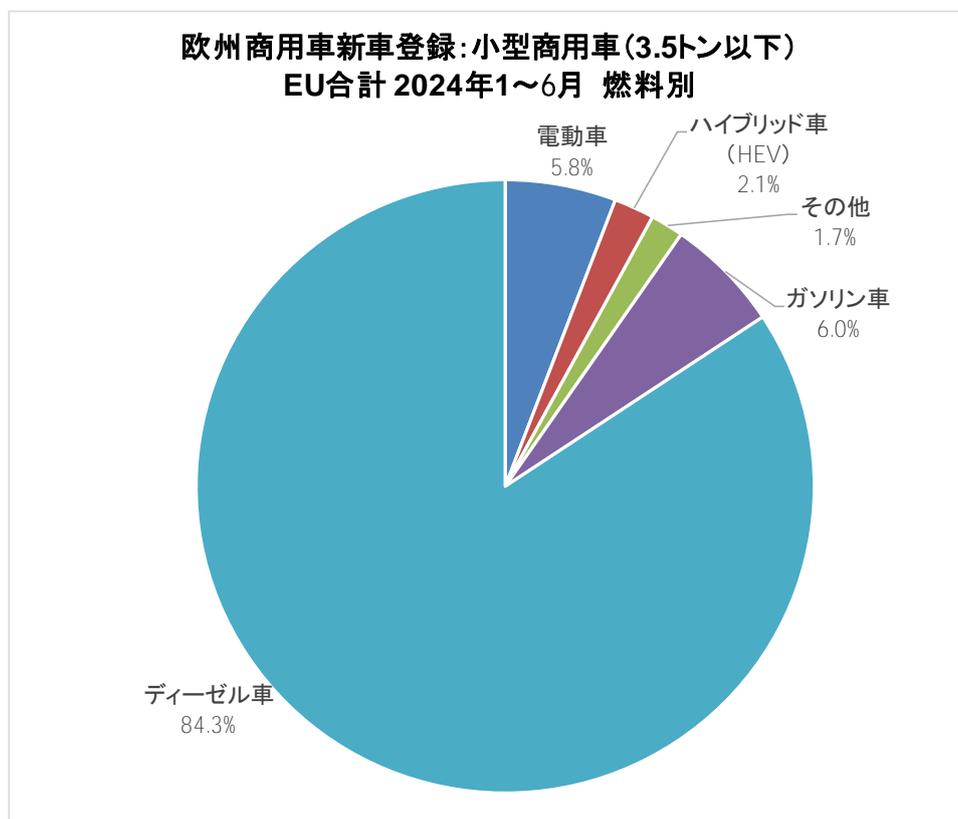


東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう

FBC

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州商用車販売、2024年1～6月：燃料別



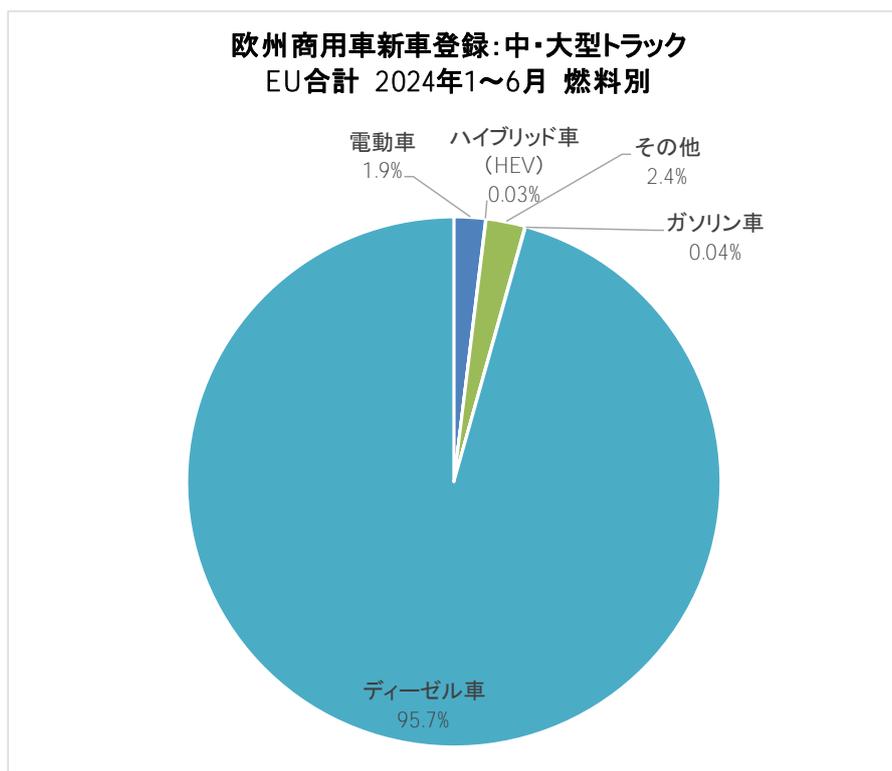
出所：各国自工会；ACEA



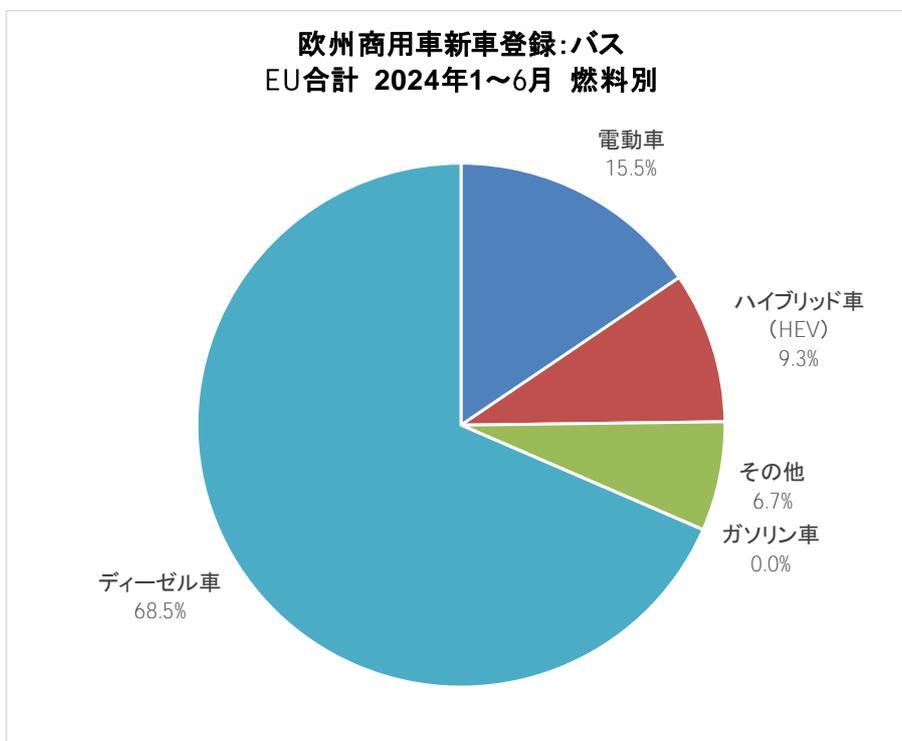
欧州自動車工業会(ACEA)によると、バン(小型商用車)の燃料別の登録台数は、主流のディーゼル車が前年同期比 16.2%増の 70 万 8,624 となり、市場シェアで 84.3%を確保した。電動車は、前年同期比 3.7%減の 4 万 8,771 台と低調だった。

トラック(中・大型合計)は、ディーゼル車が前年同期比 2.6%増の 17 万 5,350 となり、全体の 95.7%を占めた。電動車は、前年同期比 51.6%増の 3,499 台となり、市場シェアを 1.9%(前年同期: 1.3%)に拡大した。ドイツが前年同期比 113.9%増の 1,848 台で、EU の電動トラックの市場シェアの約 53%を占めている。

バスは、ディーゼル車が前年同期比 35.3%増の 1 万 3,944 台となり、全体の 68.5%を占めた(前年同期: 65.1%)。電動車は前年同期比 45.4%増の 3,152 台となり、市場シェアを 15.5%に拡大した(前年同期: 13.7%)。



出所: 各国自工会: ACEA



出所: 各国自工会: ACEA

<AI22141>